

2017年1月30日

報道関係各位

ラサール不動産投資顧問株式会社

**新たな物流適地として発展が期待される平塚エリアでの開発第2弾
国内大手食品卸会社専用物流施設
「(仮称)平塚東八幡物流センター」を着工**

ラサール不動産投資顧問株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役兼 CEO 中嶋 康雄、以下「ラサール不動産投資顧問」)は、神奈川県平塚市に国内大手食品卸会社のコンビニエンスストア向けのBTS型※1物流施設「(仮称)平塚東八幡物流センター」を2017年1月10日に着工したことをお知らせいたします。竣工は2017年10月31日の予定です。

当施設は圏央道「寒川南 IC」まで2.5kmと至近に立地しており、東名高速道路や中央自動車道へのアクセスが容易です。「藤沢 IC」～「釜利谷 IC」間の開通後は、横浜中心部へのアクセスも向上します。また2018年度には当施設から7.5kmの位置に新東名高速道路「厚木南 IC」が開設、2020年度には「御殿場 IC」までの全区間が開通する予定で、西日本方面への交通利便性が一層高まることから、平塚エリアは新たな物流適地として発展が期待されています。

また当施設の近隣住民人口は、半径5km圏内で約41万人にのぼり、従業員確保に優れています。一方、当施設が立地する周辺一帯は工業専用地域となっているため、365日24時間の稼働が可能で物流効率化を実現できる環境です。当施設の仕様として、L字型トラックバースを備え、床荷重1.5t/m²、梁下天井有効高5.5～6.5m、一部空調設備を確保しています。全館LED照明、緑化駐車場を整備し、環境や省エネルギーにも配慮しています。

平塚エリアでの物流施設の開発は、既に竣工している「ロジポート平塚新町」※2に続く第2弾です。当施設は、国内大手食品卸会社へ竣工と同時に1棟貸しすることが既に決まっており、コンビニエンスストア向けのドライ食品を扱う配送センターとして稼働する予定で、「ロジポート平塚新町」と同様に国内大手の企業より長期の賃貸借契約が締結されました。

各企業による物流効率化の過程で、交通利便性に優れたエリアに立地する近代的な物流施設へのニーズが高まっています。ラサール不動産投資顧問は今後も各企業の戦略的物流拠点となる適地を見定め、テナント企業活動のニーズに応える物流施設開発を進めてまいります。

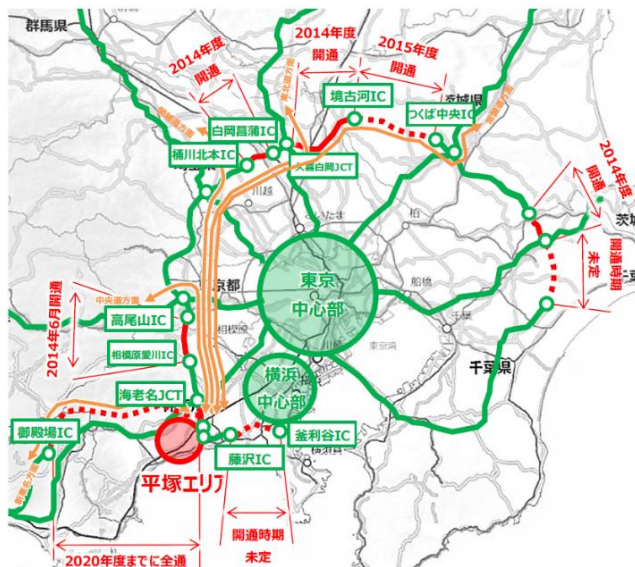
【外観パース】※下記は完成イメージです。



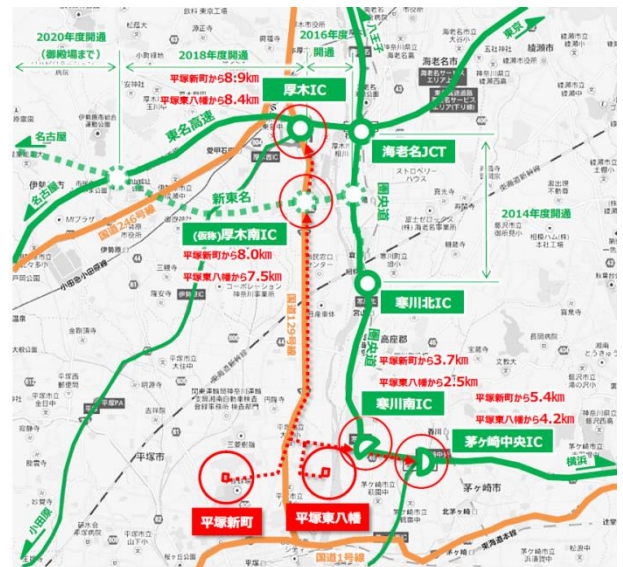
※1 ビルド・トゥ・スーツ型＝特定企業向け

※2 「ロジポート平塚新町」はトナミ運輸株式会社専用の物流施設で、2016年5月31日に竣工し、同年12月9日に譲渡致しました。

【広域周辺地図】



【周辺地図】



【施設概要】

所在地	神奈川県平塚市東八幡 1744 番 1 外
開発設計監理	株式会社日立建設設計
設計監理	コンストラクションマネジメントジャパン株式会社
施工	株式会社加賀田組 東京支店
着工	2017年1月10日
竣工	2017年10月31日(予定)
敷地面積	9,369.88 m ²
建築面積	5,116.43 m ²
延床面積	9,690.14 m ²
構造	鉄骨造、地上2階建て
用途	BTS型物流施設

ラサール不動産投資顧問株式会社について

ラサール不動産投資顧問株式会社は、ラサール インベストメント マネージメントの日本法人です。ラサール インベストメント マネージメントは、世界有数の不動産投資顧問会社です。世界規模で、私募、公募の不動産投資活動、負債性投資をしており、総運用資産残高は約 601 億米ドルです(2016年9月末現在)。主要顧客は、世界の公的年金基金、企業年金基金、保険会社、政府関連、企業、その他基金(大学基金他)などで、世界中の機関や個人投資家の資金管理を行い、セパレートアカウント型、オープンエンド型ファンド、クローズドエンド型ファンド、公募証券、エンティティレベル投資等の手法で投資を行っています。また、世界最大級の総合不動産サービス企業であるジョーンズ ラング ラサール グループ(ニューヨーク証券取引所上場:JLL)傘下にあります。詳しい情報は、www.lasalle.com をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

広報担当(エイレックス) 村瀬亜以 電話 03-3560-1289 メール lasalle@arex-corp.com